

創立40周年を迎え 心のマナーを伝え続ける

トータルマナー株式会社 代表取締役
関西作法会 会長

田野 直美

今だにコロナが気になりますが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

さて、今年の8月でトータルマナー株式会社の前身である関西作法会が創立40周年を迎えることができました。

これもひとえに皆様方のお陰でございます。心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

35周年までは5年ごとに記念式典を開催し、直接お礼を申し上げておりましたが、このコロナ禍では難しいと考え、弊社ホームページにて動画でご挨拶を配信することにいたしました。

また、社員研修にオンデマンド教材として活用いただけるよう「挨拶のマナー」を配信しております。無料で年内まで視聴いただけます。よろしければご活用くださいませ。

今回は、冠婚葬祭に関する「六曜（ろくよう）」について少しお話いたします。「六曜」は伝統的な古い風習ですから仏教的なものと考えている方も多いと思いますが、実は仏教や神道ともまったく関係がありません。六曜とは、日本の暦において「その日の運勢を示したもの」です。その日一日の中で「縁起の良い時間・悪い時間」そして「その日にやって良いこと・悪いこと」を表しています。

先勝（せんしょう） …… 午前は吉、午後は凶、急ぐことは吉。「なるべく先まわりして行動する」と良い日。

友引（ともびき） …… 元は「共引」先勝と先負のあいだの「共に引き分け」という意味。今は、「友を引く」ので祝い事は吉。葬式などの凶事は忌む。朝夕は吉、正午は凶。結婚式 OK・葬儀 NG

先負（せんぷ） …… 何事も控え平静を保つ日。午前は凶、午後は吉。午後は「平常を装って吉」とされ、何事も起こらないよう無難に過ごす日。

大安（たいあん） …… 「やってはいけないことが何もない日」。この日は大吉だと思われがちだが、「大いに安し」という意味をそのままとると「特に害のない日」となる。何事にも OK

仏滅（ぶつめつ） …… 元は「物が終わる（滅する）日」悪い日だと思われがちだが悪縁を切り、改めて人生をスタートしたい時などには適す。偶然お釈迦さまが亡くなった日と重なり「仏滅」になった。今は万事凶。

葬儀 OK・結婚式 NG

赤口（しゃくく） …… 古来より魔物がいると考えられてきた「丑寅の刻（＝午前2時～4時）」の時間帯の六曜で、
（しゃっこう） 日を占うものとなった今も不吉な日とされている。全てが消滅する日と言われており、「大凶」とも言える日だが、正午だけは吉となる。結婚式 NG

今では、大安・仏滅・友引ぐらいが気になっているようですが、実はその信ぴょう性は薄いと考えられています。なぜなら今の六曜は、いろいろな歴史を経て今の時代の“仕様”になったものだからです。ですが、「信じる」ことで意識や行動が変わる人が多くいることも事実。大きな行事や結婚式に六曜を取り入れることは、招待したお客様への配慮であり、また、より行事が楽しめることもあるでしょう。

日本人の考え方の傾向として、それで不快な思いをする人がいないように気を付ける、「たとえ自分たちは仏滅など気にしなくても、そのことを気にする人がいるといけなから、慣例にならおう」というのはマナーの心があるからです。何事も、決めつけるのではなく周りへの気配りが大切です。

これからも、このような心のマナーを発信し続け50周年を迎えたいと存じます。
今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



関西作法会／トータルマナー株式会社 40年の歩み

今から40年前の1982年（昭和57年）、関西作法会が産声をあげました。

その40年の歩みを主な出来事で振り返ります。

1982年8月

一人で関西作法会を設立

7年ほど恩師の作法教室で学んだ後、マナー講師として独立

1982年10月

西宮 作法教室開講

（西宮神社御内「六英堂（旧岩倉具視邸）」にて）

大阪 作法教室開講

（大原簿記専門学校にて）

以降、少しずつ

タイピストや簿記の専門学校にて、秘書教育・就職指導などの学生教育などの依頼が増える

その後も、知人の紹介などで、公民館などでの冠婚葬祭のマナー、企業の社員研修、新聞などにも取り上げられる。その頃より、障がいを持つ方々へのマナー教育のご依頼をいただくようになる

1992年 10月 （関西作法会 発足後10年）

マナー講師養成講座開講

自分と同じように、人に喜んでもらえることが自分の喜びと感じる方がいっぱいいるはず、と考え開講以降、毎年開講

これまでの受講者
延べ300人以上



2012年3月

関西作法会 創立30周年

ワンコインマナーレッスン発表



2022年8月

関西作法会創立40周年

オンライン・オンデマンドを活用した研修にも力を入れつつ、対面研修の良さを活かしている
新しい事業形態を模索中



1998年4月

トータルマナー株式会社設立

関西、東京、また北海道から九州、遠方では上海からも研修のご依頼をいただくようになり、対外的な面から株式会社として設立

現在、トータルマナー株式会社は事業部門として、
関西作法会は教育部門として活動

2017年3月

関西作法会創立35周年

スキルアップマナーレッスン DVD 発売



マナーを学び47年、少しでもお役に立てればと思い、未熟ながらもお伝えして42年、独立して40年、今までやってこれたのは、多くの方々が支え励ましてくれたお陰です。本当にありがとうございます。

長い経験を積んでも、決して偉くもなく、また人より優れているわけでもないといつも自分に言い聞かせております。人は環境に育てられる。特に講師業はつつい上から物を言いがちです。そうならないために、これからも驕（おご）らず、謙虚に、そして私のモットーである「お役立ち」を一生懸命努力して参りたいと存じます。今後ともよろしくお願いいたします。

心のおしゃれ講座へ いらっしゃいませんか？

わたくしどもでは当社マナー会員向けに毎年テーマを決めて、冠婚葬祭をはじめ、日々の暮らしに役立つマナーの講習会を年4回実施しています。今年のテーマは**“自分を磨く 学びの世界にプチ旅行”**です。今年度の11月以降は下記の2回を予定しています。会員以外の一般の方も会費1000円で受講いただけます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

場所：トータルマナー株式会社 西宮市南昭和町 5-15

第3回 11月26日(土)「身につけておきたい自宅訪問のマナー」 講師 木村 久美子

目上の方のご自宅を訪問する際、「脱いだ靴の扱いはどうすれば？」とか「手土産はどこで渡せば？」と迷われたことはありませんか。ご自宅を訪問しづらい今ではありますが、いざという時に慌てず礼儀正しく振舞えるように、訪問前の心がけからおいとますまでのマナーと所作を、順を追ってお伝えいたします。

第4回 2月25日(土)「香りを楽しむ中国茶の魅力」 講師 萬 智子

1000種を超えるといわれる中国茶。烏龍茶はその一種でしかありません。日本の緑茶は、味わいを重視しますが、中国茶は香りを重視します。清香（チンシャン）と呼ばれる深い香り。中国茶の知識と、実際に聞香杯を使って香りもお楽しみいただきます。

PICK
UP!

第2回 令和4年9月24日(土) 開催

「美しく見える物の受け渡しと所作」

講師 トータルマナー株式会社 芝池 公子

私達は生活の中で多くの物を受け渡ししています。特に相手の方に物を渡す時は、相手を気遣う心を持ち、気持ちを形に表すことが大切です。

今回は、ペン・本・はさみ・小型ナイフ・包丁・金包み（台付ふくさ）・手土産・お茶の出し方・名刺・マイク・傘・花束といろいろな物を実際に受け渡しすることにより、どのように気持ちを形に表せば伝わるのかをお伝えしました。



小さな物の扱いは、右手の指3本（親指・人差し指・中指）で手前を持ち、左手を先細りの手でそっと添えると良いです。

相手に物を渡す時のポイント

- ① 出来る限り両手で渡す
- ② 相手から見て、正面に向けて渡す
- ③ 相手を取りやすい位置に差し出す
- ④ 指先を揃えた先細りの手にするとスマートで美しい



包丁などの危ないものは安全に渡すことが大切です。布巾で包み、お盆に載せてお渡しすると良いです。刃先の向きが分かるように少し柄の近くを見せるのもポイントです。



傘や靴べらなどの細長い物もやはり相手を取りやすい位置に柄を向けて渡すと、非常にスムーズで見栄えも美しくお渡しできます。

是非、日常でも誰かに何かをお渡しする際には「相手に物を渡す際のポイント」を意識なさってみてください。

マナーQ&A

今回は、エレベーターでの案内に関する質問です。

Q. お客様を案内する際のエレベーターでの対応として、正しいのはどちらでしょう。

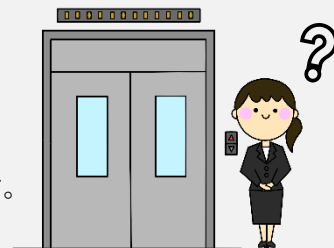
1. お客様が奥側に乗り、案内者は操作盤側に乗る
2. 案内者が奥側に乗り、お客様は操作盤側に乗る

A. 正解は、1.

エレベーター内にも上座と下座があります。基本は応接室と同じです。

上座は"奥側"、下座は"操作盤側"になります。

したがって、立ち位置としては、お客様（目上）が奥側、案内者が操作盤側の壁寄りに立つのがふさわしいです。



ただし、すでに操作盤側に立っている人がいたりした場合、無理に場所を移動してもらう必要はありません。混み具合や相手の事情など、その場の状況を把握し、柔軟な対応を心掛けましょう。

ボタン操作をしてもらったら「ありがとうございます」と相手にお伝えすることも大切です。また、お客様をご案内してエレベーターを利用する際、乗る時に先に誰か乗っていたら、中の人に「失礼いたします」の一言があると感じが良いですね。

研究科 難波 美喜

トータルマナー研修情報

～顧客サービスや集客でのマナー講習会の活用～

わたくしどもでは、ご依頼によりご希望のテーマで講演・研修が可能です。マナーの研修というと、社員教育という側面が強いですが、冠婚葬祭のマナーや日常のマナー、そして茶菓と食事のマナー、などは誰しもが教養として身につけておきたいマナーです。近年、顧客サービスや集客の一環としての、マナー講習会のご依頼が増えています。よろしければ御社でも当社のマナー講習会をご活用くださいませ。

研修事例

1. 顧客サービスのためのマナー講習会（宝飾品専門店様 「お念珠の知識・扱い方」）

取扱商品である「珊瑚のお念珠」購入者へのアフターフォローと日頃お世話になっている顧客サービスの一環として実施。お念珠の扱い方だけではなく、弔問でのお参りの仕方なども行う。時間は60分ほど。



2. 新規登録会員獲得のための講習会（高年齢者向け職業紹介事業者様「茶菓のマナー等」）

事業内容を知っていただくためのきっかけとして定期的に行う。60歳以上の女性限定ということで「おもてなしの心を形に表す」をテーマに基本的なマナーから茶菓のマナーなどを行う。最後は実際にお茶と菓子を召し上がっていただく。

実施内容はご希望によってご相談させていただきます。
お気軽にお問い合わせくださいませ。



編集後記

40年の歩みはいかがでしたか？今回編集のため、若かりし日の田野会長はじめ諸先輩方の初々しいお写真や動画を見る機会があり、時の流れと変化を大いに感じました。とはいえ、マナーの心自体は変わるものとは思いません。「美しく見える物の受け渡し」は相手へのちょっとした思いやりが形になったもの。このようなマナーを引き続きお伝えしていけたらと思っています。お読みになってのご意見ご感想を、是非お寄せください。

E-mail: info@manner.co.jp FAX: 0798-65-2636

広報委員長 萬 智子

